

神奈川ウォーキング参加H22-03

真鶴半島と貴船まつり

- ・日時：平成22年7月27日（火）10時真鶴駅集合
- ・コース：真鶴駅→荒井城址公園（ストレッチ）→中川一政美術館→森林浴遊歩道→番場浦遊歩道→潮騒遊歩道→三ツ石海岸（真鶴岬）→ケープ真鶴（昼食）→御林遊歩道→琴が浜→貴船神社（御祭見学）→（岩魚港・源頼朝船出の浜中止）→真鶴駅 15:40解散。22、000歩・14km（自宅含む）
- ・参加者：高橋文雄（L）常盤（A班SL）田村（B班SL）大平（総括SL）総計28名。2班に分かれ要所で人数確認。
- ・概要と所感 写真集

7月19日（月）コットンハーバーウォーキングの時、高橋（文）さんから貴船祭の御話を聴き、是非行きたいと思いつつも、別件の予定があり保留にしていたが、こちらの方が変更になり、前日メール連絡して参加申し込み。真鶴駅は初めてで有り、パソコンで路線検索すると、新横浜～小田原間こだま号乗車ルートが出て驚き。新幹線不使用で改めて検索、①溝の口7:52（田園都市線）中央林間（小田急線）藤沢（JR東海道）真鶴9:41、¥1,270と②武蔵溝口8:02（JR南武線）川崎（JR東海道）真鶴9:41、¥1,450の2案有り。乗換少ない②案で行く。南武線も途中で座れ、東海道はガラガラ空席。東海道線の各駅の名前が、神奈川ウォーキングと共に思い出される。特に「二宮」は平成21年1月17日（土）「ミカン狩り」初参加のアフターで行った居酒屋のメザシで美味しいお酒を飲まして戴き、その調子に乗り、夫婦で即加入宣言したことが思い出されました。小田原駅を過ぎて真鶴は熱海の2つ前。箱根・熱海は「旅行の範囲」で、「ウォーキング」には、少し遠い所まで来たものだ。

しかし初めての真鶴半島、相模湾の中に少し付き出た、小さな半島であるが、今日来てみて、樹齢350～400年のマツ・シイ・クスの巨木が生い茂り、海岸近くにこんな素晴らしい落ち葉絨毯の遊歩道が有るとはマッコト感激でした。真夏の暑さの中でマイナスイオンを十分吸い込み、堪能しました。

今日は貴船祭と言う事で、真鶴駅・ストレッチした荒井城址公園もウォーキンググループで一杯。東京からのツアー客も同じコースをウォーキングしておりました。

貴船祭の方は時間通りに進行せず、後半「宮前出航」から「宮本到着」辺りから隊列が乱れるハプニングが有り、結局最後の「岩魚港」はカットされましたが、祭の熱気に燃えたことも有り、本日の御茶ペットボトル・ロング3本。皆さん真鶴駅直行、結果的には熱中症防止の上からも良かったのではないかと思います。しかし、高橋リーダーの「混雑する御祭見学後はAB2班で人数確認して出発して下さい」との注意厳守で「神社下」出発時は確認したのですが、最後御祭り神輿が「宮本」に到着するあたりで、ハプニングが起きたようです。



荒井城址公園ストレッチ

・高橋（文）リーダー自らストレッチと、2班分け。2枚の地図入りパンフレットで今日のコース説明受け

P 1





2010.07.27 中川一政美術館から相模湾を見る

10.07.27

中川一政（1893～1991）「向日葵」「薔薇」で有名。真鶴町立美術館は平成元年開館。ここで休憩。



2010.07.27

2010.07.27

マツ・シイ・クスの巨木の森林浴。枯葉の絨毯遊歩道を、真夏のこぼれ陽に映える緑を見ながらの歩きは、暑さも忘れ気分最高でした。



直径1,5～2,0mの巨木と落ち葉の絨毯

2010.07.27

「御林」徳川時代、菅原だった岬に小田原藩が3年かけて15万本の松苗の植林をした。明治維新後「皇室御料林」となり真鶴町はこのはやしの湧水が湾のプランクトンとなり魚の餌になることから「魚付き林」として真鶴町の人は「御林」と呼んで親しみを持って大切にしているとの事。



番場浦海岸

2010.07 三ツ石 (笠島)



2010.07.27



2010.07.27



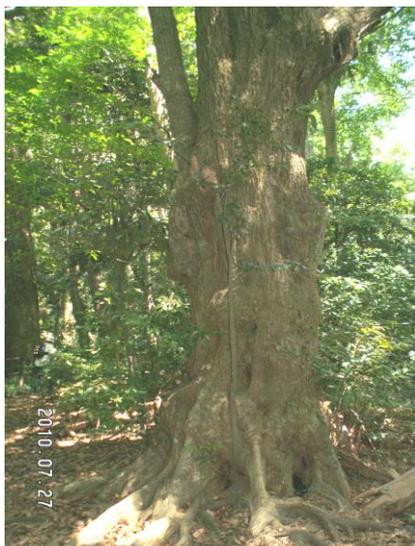
2010.07.27



昼食場所：
「ケープ真鶴」



2010.07.27



2010.07.27



2010.07.27



古木の根っ
子に鳥の羽
根飾り

2010.07.27

「御林」には古木と、花と、人の心が有ります。



他の団体も含めウォーキングの長い行列が続く琴ヶ浜

・**貴船祭と由来** (パンフレット・真鶴町観光課資料から引用)

国指定重要無形民俗文化財。1, 100年前の夏、三ツ石の沖合に毎夜不思議な光が現れ、「平井の翁」が磯辺に近づいた屋形船の中を見ると、木像12本と「この神をお祀りすれば村の発展ある」と記された書状が有り、村の鎮守の神として祀ったのが現在の貴船神社(889年創建、江戸時代は貴宮神社)と伝えられています。

7月27日(宵宮)の朝、東西小早船が進水し(水浮)宮本のお假殿前の海岸に神輿船、東西のはやし船、**權伝馬**が待機する。献幣使の神輿乗船を合図に、はやし船は一斉にはやしを打ち込み、權伝馬が他の諸船を曳航し、宮の前海岸に向う(お迎え)。海岸に到着した献幣使以下一行は鹿島連の出迎えを受けつつ神社に向う。この後神社で例大祭が行われ、祭典終了と同時に境内下で鹿島連による**鹿島踊り**が奉納される。神社では発興祭が行われ、神輿・鹿島連・神職・祭典役員等は諸船が係留されている宮の前海岸に向う。神輿船に乗船後、再びはやし
が打ち込まれ、各船はお假殿前の海岸に向い、一向は上陸する。(我々は青字部13:30~14:50を見学)。

神輿は上陸後、磯崎の東船上げ場附近で海中に入るなどの後、お假殿に入御し、假殿祭が執り行われ、終了後、鹿島踊りが奉納される。又**花山車**は**発心寺**から下降し、お假殿に収められる。夜は假殿前で歌謡ショー等が繰り

・**鹿島踊り**

相模湾西岸、小田原西部から伊豆北川までの石材産出に係わった地域の22社で行われる神事。「**悪疫退散**」「**大魚**」「**海上安全**」を祈願しての踊り。



貴船神社下で神輿を待つ我がチーム

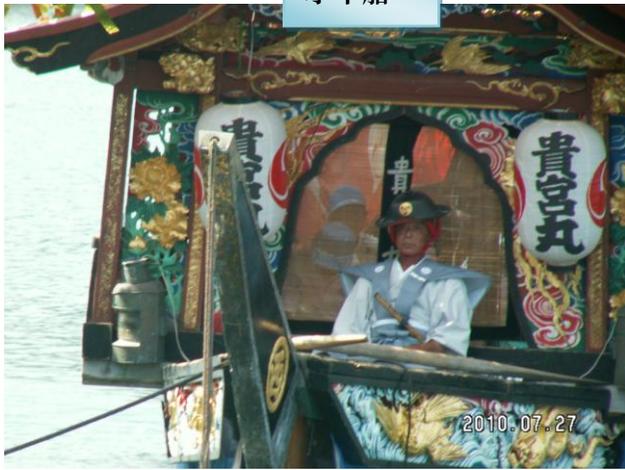




貴船神社から石段を降りて街を廻り港に向う



小早船



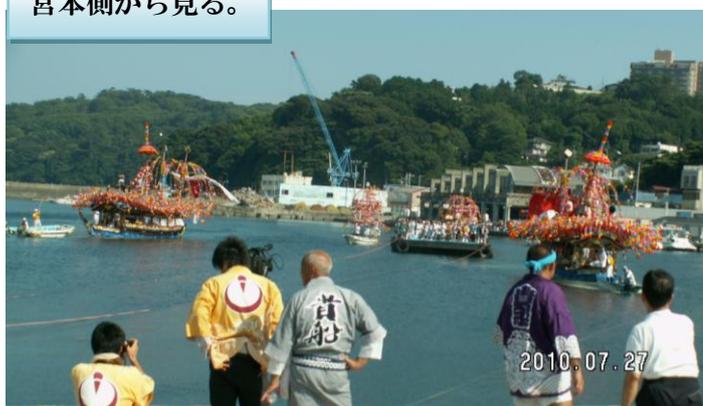
宮前を出港して宮本へ向う



宮本側から見る。



はやし船



発心寺



アフターウォーク I N 駅前「福浦屋食堂」



- ・お祭好きの高橋（文）リーダーには、判りやすい資料を準備され、「貴船まつり」を堪能させていただきました。「貴船まつり」前にウォーキングした、「お林遊歩道」は素晴らしい照葉樹林で、真夏の暑い「貴船まつり」の前哨として強く印象つけてくれました。厚くお礼申し上げます。皆さん熱中症にならず良く頑張りました。
- ・アフターウォークの「福浦屋食堂」揚げたての「鱈フライ」で美味しいビールを戴き、俳句談議に花が咲きました。小田原駅近くの冷房の効かない「エプロン亭」の2次反省会も楽しく夕食させて戴きました。

真夏を お林で冷やし 貴船燃え